

ぞう組～春の活動の様子～

それ～！！



涼しい風がそよそよ吹いて、気持ちのいい春。芝山すべりや砂遊び、友達と誘い合って鬼ごっこや虫探しなどを楽しむ、元気いっぱいのぞう組の子どもたち。「せんせ、おはよー。今日外行く？」と挨拶と同時に聞いてくることもあり、外遊びが楽しみで仕方ないようです。

「先生も一緒にオニごっこしよう！」と誘われて行くと、子どもたちが片足を出して並び輪になっていました。一緒に並ぶと「お・に・ぎ・め・お・に・ぎ・め…」と言いながら一人の子が足を順番に触って行くのですが、何故か毎回保育士がオニに…(通り過ぎても戻ってくるのです)。好きな友達と一緒にキャアキャア言いながら走り回って逃げ、タッチされるとすぐにまた保育士にやり返そうと追いかけてくる子どもたちです。

弟や妹がいる子もいるので、小さい友達のことも気になるようです。外で遊んでいると「小さいお友達まだこんの？」と気にしたり、出てくると近づいて行って一緒に遊んだりする優しい姿も見られます。

アサガオを育てることにしたぞう組の子どもたち。一人で植えたい子、友達と一緒にやりたい子とそれぞれのやりたい方法で植えることに決めました。

植木鉢に土を入れて種を捲き、数日後に芽がでてくると、発見した子が「芽がでとる！」と知らせてくれて、みんなで喜びました。「大きくなってきたよ」「はっぱが増えとる」など子どもたちなりにアサガオの生長を喜びながら、水やりや草とりなどしてお世話をしています。



5月のゴールデンウィークを過ぎると、暑い日も増えてきて、水を使った遊びを好んできるようになってきました。

咲き終わったパンジーなどの花をとってきて、すりつぶしたり、袋に入れてもんだりして色水づくりをしています。

泥んこ遊びでは、裸足になって泥や水の感触を楽しみながら遊んでいるうちに、柔らかくなった泥の感触に気づき「なんかチョコレートみたい」とチョコレートのごちそうを作ったり、泥を丸めては砂をかけて泥団子づくりをしたりして楽しみました。

「プールはいつから始まるの？」という声も聞かれはじめ、夏を心待ちにしている子どもたちです。

